

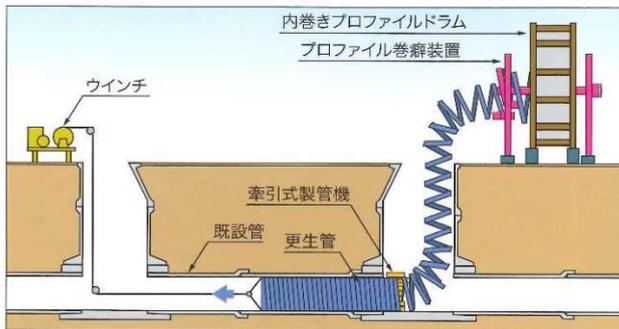
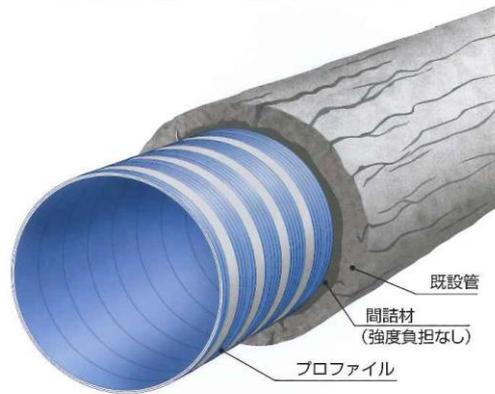
# SPR-SE工法 既設適用管径450~1650mm

**更生管単独で自立強度を発揮。  
既設管の残存強度がゼロでも更生可能。**

従来のSPR工法は既設管の残存強度を利用して「複合管」として更生していましたが、新工法のSPR-SE工法はプロファイルによる更生管だけで自立強度を確保。既設管の強度を期待できないような老朽管でも更生できます。

### 技術・審査証明

SPR-SE工法は(公財)日本下水道新技術機構において、建設技術審査証明を取得した工法です。



## 工法の特長

- 更生管のみで土圧・活荷重に耐える自立強度
- 非開削で水を流しながら施工可能
- 高い水密性
- 現場硬化を伴わない工場製品による更生で安定した高品質
- 施工を任意に中断可能 (時間制限、降雨などに対応可)
- 地震動や液状化に伴う永久ひずみに追従する耐震性
- 既設管の残存強度が期待できない、把握できない場合や偏平している場合でも適用可能 (偏平している場合はサイズダウンが必要です)

## 適用範囲

既設管径	呼び径450~1,650
施工可能延長	100m
施工時流量	既設管呼び径30%以下、流速1.0m/sec以下※現場条件による
既設管種	既設管種は問わない。RC管以外(FRPM管、コルゲート管など)も適用可能
形状	仕上りは円形のみ(既設管形状は不問)